

●カラーリングのねらい

カラーリングにおいても造形面同様、“機能”を追求しています。そこでは、より精神的な機能、つまり“人の気持ち”に、よりダイレクトに訴えかけることを重視しています。このため新しいゴールドウイングのカラーリングでは車両開発と並行して、色調はもとより質感や仕上げが、見て、触って、乗って、人に与える印象について検討を進めてきました。

その知見を基に、新しいゴールドウイングでは「心を震わせる上質さ」を統一テーマとして、色調、質感、仕上げの各要素がもたらす印象を統合的にコントロールしてカラーリング展開を図りました。

具体的には、ボディ上側とボディ下側を異なる触感として表現した色調、質感、仕上げを適用。ボディ上側は、厚みのあるクリアコートの平滑さにより深みを増した色調と、しっとりした、温度まで感じさせるような質感の高いシボを施したシート表皮で“上質な感触”を表現。ボディ下側は、車両の性格がお客様に与える印象の違いに配慮し、Gold Wing TourとGold Wingで異なる表現を反映し、“視覚を通して感じる質感”を目指しました。

Gold Wing Tourのボディ下側は、コントラストが映える金属質感表現により、精緻なメカニズムが高密度に内包されていることを一目で伝える表現としました。

Gold Wingのボディ下側は、ダークでローコントラストな色調とマットな質感で構成する事により、迫力溢れる動力性能を強調し、より若いお客様の嗜好にもマッチさせています。



■Gold Wing Tour (写真は北米仕様車)

■Gold Wing (写真は北米仕様車)